

理研シンポジウムのご案内 「重イオンビーム育種技術の実用化 20 年」

開催日時：2020 年 1 月 23 日 (木) 13:30～17:50 (研究交流会 18:00～20:00)

1 月 24 日 (金) 10:00～12:00

場所：国立研究開発法人理化学研究所和光事業所 鈴木梅太郎ホール

主催：国立研究開発法人理化学研究所 (イオン育種研究開発室)

理研が開発した重イオンビーム育種技術は、1996 年からサントリーフラワーズや地方農業
験場との共同研究に発展し、1998 年照射サンプルより、3 つの新品種育成し、広島市が 2001
年秋に切り花ダリア「ワールド」を、サントリーフラワーズが 2002 年春より不稔バーベナ
「コーラルピンク」、2003 年春より新色ペチュニア「ローズ」を販売した。2010 年以降、
岩手県のヒエ「ねばりっこ 2 号」、埼玉県の清酒酵母「埼玉 G 酵母」・「埼玉 H 酵母」、ハウス
食品のタマネギ「スマイルボール」、山形県の食用菊「菊名月」など、作物や微生物への利
用が広がり、市販品種は 30 を超えた。一方、理研は、ユーザーが希望する変異体を効率的
に得るための「オンデマンド変異誘発技術」を開発するとともに、更に高エネルギーイオン
ビームを生物照射で利用できるように、WACAME ビームラインを整備した。ゲノム情報を
本格的に利用できる時代となり、重イオンビーム育種技術の高度化、食料のみならずエネル
ギー・環境問題解決への貢献を目指して、重イオンビーム育種技術について次の 10 年を考
える。

2020 年 1 月 23 日 (木)

13 時 30 分 重イオンビーム育種技術の実用化 20 年 阿部知子 (理研・仁科)

13 時 55 分 花卉園芸植物の実用化 鈴木賢一 (サントリーフラワーズ)

14 時 20 分 時計遺伝子変異体を利用した小麦の品種育成 村井耕二 (福井県立大学)

特別講演

14 時 45 分 韓国の突然変異育種の最近の動向 S. Y. Kang (KAERI, Republic of Korea)

15 時 15 分 ダイズ短節間変異体の単離、育種素材としての評価および原因遺伝子探索

平賀 勸 (農研機構・次世代作物)

15 時 40 分～15 時 55 分 休憩

15 時 55 分 宇宙時代到来～半導体でも重イオン照射～ 吉田 敦 (理研・仁科)

16 時 15 分 ゴジラワムシの開発 常泉和秀 (理研・仁科)

16 時 35 分 アカマツ実生苗の成長を抑制するマツタケ変異体の作出

村田 仁 (森林研究・整備機構)

17 時 00 分 突然変異育種を用いたパン酵母の改良 金澤由希子 (日本甜菜製糖)

17 時 25 分～17 時 50 分 クロレラでバターを作る—微細藻類の重イオンビーム育種と
バイオベンチャーの挑戦 竹下 毅 (アルガルバイオ)

18 時～20 時 研究交流会 (広沢クラブ)

2020 年 1 月 24 日 (金)

これからの 10 年

10 時 ゲノム情報を用いた重イオンビーム育種技術の高度化 市田裕之 (理研・仁科)

10 時 25 分 染色体再編成の生物学 風間裕介 (福井県立大学)

10 時 50 分 重イオンビーム誘発変異を利用した新規育種法開発に向けて
平野智也 (宮崎大学)

11 時 15 分 スギとヒノキにおける重イオン照射個体の変異体スクリーニング
に向けた取り組み 武津英太郎 (森林研究・整備機構)

11 時 40 分～12 時 総合討論

当日参加も可能ですが、事前申込頂けると名札を作成します。

研究交流会は事前申込が必要です。

1 月 8 日までに下記メールアドレスまで事前申込下さい。

ion-breeding@riken.jp

件名：理研シンポジウム参加申込

理研シンポジウム参加申込書

ご氏名

ご所属

参加日 1 月 23 日、1 月 24 日

研究交流会 参加／不参加

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 イオン育種研究開発室

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

ion-breeding@riken.jp